

笑福亭 生高

題目..花の都

新年祝寄席

あくるす亭

毎年恒例の新春寄席。

今年「仕事」をテーマにお届けします。

新年の初笑いを存分にお楽しみください。

林家 染雀

題目..お文さん



開口一番 桂 小文三



2025年 1月18日土

開場 / 午後1時30分 開演 / 午後2時00分

お雛子 佐々木 千華



- 会場：生涯学習センター アクロス 4階多目的室
- 定員：90人(要申込)
- チケット：前売 1,500円 (当日 1,700円)

- 申込：11月6日(水)より電話か来館 (前売券の購入は来館のみ・当日券の予約も可)
- ※未就学児不可

お申し込み / お問い合わせ 大東市立生涯学習センター **アクロス**

〒574-0036 大阪府大東市末広町 1-301 ローレルスクエア住道サンタワー内 ※JR 住道駅南側高層マンション内  
 TEL : 072-869-6505 FAX : 072-870-1405 E-mail : info@daito-across.jp  
 HP : 「大東 アクロス」で検索 開館時間：午前9時～午後10時 休館日：第2木曜日  
 お願い：当センターの駐輪場は狭いので、なるべく公共交通機関や徒歩でお越しください。

# 演題散歩 林家染雀

## 「花の都」

落語の中には民話にも存在する噺がいくつかあります。大作「地獄八景亡者戯」は、「地獄の惣兵衛」という絵本になっていて、小学生にも馴染みです。「田能久」も民話にあり、十返舎一九作の「東海道中膝栗毛」の発端は「持参金」や「逆さまの葬礼」という落語になっています。これら全ては民話や物語を元に落語に仕立てられたものなのか…という議論が分かれるところなのです。地方の人が大坂や江戸へ遊びに来て、そこで聞いた落語が面白かったので、国へ帰ってみんなに話し、それが広まって民話になった…という可能性もあります。十返舎一九もよく京阪に来ていたらしく、そこで落語もよく聞いていたそうです。なのでこちらも「卵が先か鶏が先か」ということになります。

先代桂小南が速記に残してくれたお陰で、生喬さんの手によって、現代に蘇った落語のひとつです。

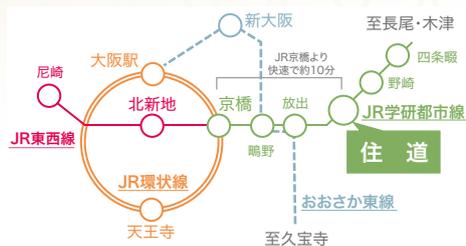
## 「お文さん」

浄土真宗のお坊さん、蓮如聖人が信者の為に手紙形式で分かりやすく、ひらがなで書いた法話集のことを「お文さん」と呼びます（東本願寺派での言い方だそうです。因みに西本願寺派は「御文章」と言うそうです）。

近江の国安土で豊臣秀吉が開いた楽市楽座で潤った近江商人たちが、太閤さんと共にたくさん大坂へ移ってきたそうです。彼らの中には近江門徒といわれる程、浄土真宗をあつく信仰する人も多く、浄土真宗のお寺である、北御堂南御堂の周辺に集まって、船場が形成されたとも言われており、船場の商人の中には代々熱心な門徒さんも多かったとか。そんな中で生まれた落語です。

因みに近江商人から出てきた一流企業は、ざっと挙げただけでも高島屋、ワコール、伊藤忠、ヤンマー、日本生命…と枚挙にいとまがありません。

## 〈会場ご案内〉大東市立生涯学習センターアクロス



### 最寄り駅（JR住道駅）からのアクセス方法（B付受付に直結）

- JR学研都市線「住道駅」で下車。
- ALB(側改札口)を出て、書店奥(西)通路に出る。
- 通路左(南)のガラスのドアを出て、連絡橋を進むとアクロスがあります。



アクロス & DIC21 YouTubeチャンネル 道案内動画



## ★ご来場のお客様へ、お願いとご案内

当センターイベント参加時には感染症予防対策のため、以下を推奨しています。

- マスクの着用
- 会場入場時の手指のアルコール消毒
- ご自宅での検温等の体調確認

(当日、発熱や風邪のような症状のある方につきましては、参加をお控えください。)